

令和7年度 第1回 岐阜県教育委員会教員育成協議会 議事概要

1 開催日時・場所

令和7年6月3日（火）15：00～17：00
岐阜県総合教育センター 第1棟3階 第5研修室

2 協議事項

岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標（R3改訂）の見直しについて等

【主な意見】

指標の見直し 「働き方改革」について

- 校長のマネジメントにおいて重要なのは、教職員の勤務時間の管理や縮減以上に、教職員一人一人の強みを生かすことではないか。
- 校長の指標「経営ビジョン」の欄に、教職員の働きがいを大切にする旨を加え、子供たちと同様に教職員も大切であることを加えるとよい。
- 校長の指標には、教職員が働きやすいように働き方改革を進めなければならないという意味合いを含めた文言で表現できるとよい。
- 校長の指標には「保護者や地域の声を反映」とあり、様々な声が学校経営に反映されることがよい。一方、働き方改革の推進により限られた時間でのコミュニケーションとなっているのは課題だと感じている。
- 教職員の指標では、それぞれの強みを生かすことが学校の向上につながることを入れられるとよい。

指標の見直し 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」等について

- 特別支援学級等での経験は、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導力の向上のみならず、経験を通して、教育は一人一人違うことを踏まえて行うものであることを理解することである。
- 特別支援学級等での経験は、再度通常学級の担任として指導をする時に生かされる。
- 多様な経験が教員生活を豊かにすること、通常学級での指導が豊かになるという視点を含めるとよい。
- どの教員も特別支援学級等での勤務経験ができるわけではないので、枠外記載がよい。

教員育成指標の活用状況について

- 校長は、人事面談時に指標を参照することができる。教職員は、人事評価表を作成する際、この指標を活用して業績目標を立てることができる。もっと活用できるとよい。
- 教員免許更新制の廃止に伴い、教員は自分で学び続けるしかなくなつた。指標は学び続

けるための手引きとなる。必要なタイミングで活用されるとよい。

○指標に掲げられていることをさらに意識できるよう、どこまでできているかを確認できる手立てがあるとよいのではないか。

○大学では、指標の「スタートライン」にあることを、卒業時に身に付けたい力と捉えて指導している。

新システム「全国教員研修プラットフォーム Plant」（R7.4月利用開始）について

○教育研究会、学会等での研修についても記録できるとよい。履歴を確認したい管理職もある。

○研修履歴の記録については、これまでにも議論されてきた。Plantでは、本人が登録することが可能であるので、必要であれば残せばよいのではないか。

○自主的な研修や校内の研修を記録すると、情報が多くなりすぎる。研修履歴の使用目的、使用場面に応じて活用できるとよいのではないか。